

景気の動き

四 国（四経連「景気動向調査」結果）

項目	9月判断	前回（6月判断）
調査結果の概要	四国の景気は、一部で足踏みがみられるものの、総じて持ち直しの動きが続いている。	同左
経営者の景況感	やや慎重化した状況が続いている	やや慎重化している
生産	持ち直しの動きに足踏みが続いている	同左
輸出	持ち直しの動きに足踏みが続いている	持ち直しの動きに足踏みがみられる
在庫	「過剰」・「やや過剰」とする割合が上昇している	「過剰」・「やや過剰」とする割合が低下している
企業業績	良好に推移している	同左
設備投資	堅調に推移している	同左
雇用	良好な状況となっている	同左
個人消費	全体として回復が続いている	同左

[四国経済連合会 2025年9月26日発表]

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	9月月例	8月月例	
基調判断	<p>景気は、米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。</p> <p>（先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。）</p>	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。	
個人消費	持ち直しの動きがみられる	消費者マインドの改善に遅れがみられるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる	
設備投資	緩やかに持ち直している	持ち直しの動きがみられる	
住宅建設	建築物省エネ法等改正に伴う駆け込み需要の反動もあり、このところ弱含んでいる	同左	
公共投資	堅調に推移している	同左	
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている	同左
	輸入	持ち直しの動きがみられる	同左
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	横ばいとなっている	同左	
企業	収益	米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられる中で、改善に足踏みがみられる	米国の通商政策等による影響が一部にみられる中で、改善に足踏みがみられる
	業況判断	おおむね横ばいとなっている	同左
	倒産件数	おおむね横ばいとなっている	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物 価	国内企業物価	このところ横ばいとなっている	このところ上昇テンポが鈍化している
	消費者物価	上昇している	同左

[内閣府 2025年9月29日発表]